

ご来賓挨拶 2015. 11. 29

双松会副会長 勝部昌幸（高21）

皆様 こんにちは。

ご紹介いただきました21期の勝部昌幸と申します。北堀小学校、松江一中出身です。

さて、双松会では今までご指導いただきました庄司肇会長（高11）から金津任紀会長（高16）への交代がありました。本来であれば金津新会長がご挨拶にうかがうべきところですが、所用のため、私が代理でまいりました。金津会長からは皆様にくれぐれもよろしくとのことでございましたのでお伝えさせていただきます。

本日の総会の開催、真におめでとうございませう。私も北高の校長時代に一度おうかがいをさせていただきますので二度目の参加になりますが、沢山の会員の皆様にご参加をいただいのご盛会でご同慶に存じます。

皆様には日頃より、双松会の活動に大変なご協力をいただきまして有難うございませう。

特に昨年呼びかけをさせていただいたご承知の二本松の保全と校地の緑化を目的とした「北高の緑を守る基金」につきましては、全国から700万円もの多くのご寄付をいただきました。私は川津校舎の卒業生ですが、川津の卒業生であれ、赤山の卒業生であれ、いかに卒業生の皆様が母校や後輩や赤山の双松に深い思いをお寄せいただいているかを強く感じた次第でございませう。

いただきました基金につきましては有意義に活用をさせていただきます。本当に有難うございました。

赤山～川津～赤山と校舎が変遷する中で、再び赤山に移ってからもう37年になりますが、北高の存在は真に大きく、塩見畷界隈の市民の皆さんからは「北高さん」と親しまれ、可愛がられておりまして、本当に今の地に定着してきたなと喜んでおります。

また、お向かいに見える松江城が遂に国宝に指定されたということで、松江市民あげて喜びの最中でございませうが、観光客も大変増えてきております。その観光客の中を北高生は毎日登下校している訳ですが、北高生も松江城のようにりりしく堂々と、そして穏やかに育って行って欲しいと願っているところでございませう。

最後になりましたが、来年、北高が140周年を迎えることに関しまして卒業生の皆様にお願いがございませう。

双松会では北高の教育プログラムを応援することを目的とし、校歌の三番に「世界の人たる誇り」とありますが、これを具現化していくために「世界の人たれ北高基金」を立ち上げたいと考えています。現在はグローバルな時代であると同時に、国内では少子高齢化や地方の再生の問題をかかえるなど大変むづかしい時代になっておりますが、こういった課題に挑戦し、活躍していける人材を育てていく為、まずは世界を見て欲しいと考えております。その為海外へ生徒を研修生として派遣するなど、みずみずしい高校生の時から意識づけをし、また、それを応援する体制を強化していきたいと考えております。来年度から具体的な動きを始め、会報等でご案内をさせていただきますが、その節はどうぞご協力のほど、よろしくお願ひ申しあげませう。

また、来年の11月12日(土)には、創立140周年記念式典をホテル一畑でおこないます。北高校舎も記念館も解放されることになると思いますが、皆様には松江にお帰りいただいてご友人との旧交をあたためていただければと存じております。多数の皆様のご参加をいただきますようお願いを申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日のご盛会、真におめでとうございました。